

令和3年度 Matsusaka-EMS 内部環境監査実施結果

○監査実施期間 令和3年7月28日(水)、29日(木)、30日(金)、8月6日(金)

○監査対象部署 13 部署及び施設
嬉野地域振興局 嬉野地域住民課(嬉野斎場)
飯南地域振興局 飯南地域振興課、飯南地域振興課(飯南コミュニティセンター)、飯南地域住民課(飯南火葬場)
飯高地域振興局 飯高地域振興課(飯高総合開発センター)
総務部 収納課
健康福祉部 健康づくり課(健康センター、歯科センター)
健康福祉部こども局 子ども発達総合支援センター
産業文化部 商工政策課(ワークセンター松阪)
建設部 建設保全課
教育委員会事務局 学校支援課(子ども支援研究センター)、生涯学習課(中部台天文台)

○内部環境監査員 3 チーム 9 名

○監査の評価結果 要改善事項: 0 部署・施設 優良事項: 6 部署・施設
観察事項: 3 部署・施設 その他意見: 1 部署・施設

「優良事項」

- ・特に時間外の削減については、時間外は発生しそうな案件がある場合に、時間外の必要性を上司と相談し、他の職員と手分けして処理をするなどして、必要最低限に留めていることは、素晴らしい取り組みであると判断します。(飯南地域振興局地域住民課(飯南火葬場))
- ・市民からの環境に対する苦情等に、複数人で対応する・ミーティングで即対応するといった体制を作っている点や、ホワイトボードで各人の行先を所員に周知することで公用車の相乗りをしやすい体制を作っている点について、他の部署の模範となることから、今後も継続して取り組みを進められたい。また、職場研修を、エコオフィス、レジ袋有料化、ごみの分別等について計3回実施し、積極的に環境に対する取り組みがなされていた。今後も、継続して所員の環境に対する意識の高揚を図られたい。(学校支援課(子ども支援研究センター))
- ・コロナ禍の中で工夫を凝らした職場研修の実施や職員からの環境改善事例の際には予算措置の対応も想定する等、環境に対する職員の意識の高さがうかがえ、今後もこのような意識の高揚を継続されたい。(生涯学習課(中部台天文台))
- ・緊急事態対応訓練として、手順書に基づきオイル吸着マット等を使用し実施されたことは、積極的な環境に対する取り組みとして評価できます。また、市民から駐車場の

アイドリングストップに関して意見があった際に、迅速に施設管理者に伝え、対応したことは職員の環境に対する意識の高さの表れであり、評価できます。(商工政策課(ワークセンター松阪))

- ・暖房の負荷低減のために、通常は上履きの使用はしていないが、冬季には各自が上履きの使用を徹底していることは、積極的な環境に対する取り組みとして評価できます。また、職員が多いなかで、職員自身の公用車の相乗りの意識が徹底され、実施した結果が顕著に表れていることは、評価できます。(子ども発達総合支援センター)
- ・資料の簡素化等により前年度比で62%までコピー用紙の削減に努められたことは評価できるものであります。また本年度から会議資料を紙資料からタブレット端末に変更され、用紙の削減に努めてみえることも評価に値するものであります。今後も引き続き用紙の削減に努められることを望みます。(建設保全課)

「観察事項」

- ・事務局へ提出する文書を部門長まで決裁していない状況であることから、適切に決裁を取得してください。また、職場研修が新型コロナウイルス感染症の影響から実施されていませんが、他部署では回覧や各自での動画視聴など工夫して実施していることから、職場研修の実施に努めてください。(飯南地域振興局地域振興課)
- ・事務局へ提出する文書を部門長まで決裁していない状況であることから、適切に決裁を取得してください。また、職場研修が新型コロナウイルス感染症の影響から実施されていませんが、他部署では回覧や各自での動画視聴など工夫して実施していることから、職場研修の実施に努めてください。また、適用環境法令等の順守管理において、エアコンの台数の整合性が取れていないことから、早急に確認してください。(飯南地域振興課(飯南コミュニティセンター))
- ・事務局へ提出する文書を部門長まで決裁していない状況であることから、適切に決裁を取得してください。(建設保全課)

「その他意見」

- ・緊急事態対応訓練をワークセンター松阪会員も参加して開催してはどうでしょうか。決裁文書、点検記録簿等関連文書の持参がなく、現物を確認できなかったことから、今後、同様のことが無いよう注意されたい。(商工政策課(ワークセンター松阪))